



Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチのスマート ソフトウェア ライセンシング

- [機能情報の確認](#) (1 ページ)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングについて](#) (1 ページ)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの注意事項および制約事項](#) (2 ページ)
- [スマート アカウントとバーチャルアカウント, on page 3](#)
- [Smart Software Manager の概要](#) (3 ページ)
- [Smart Call Home の概要](#) (4 ページ)
- [Smart Software Manager サテライト](#) (4 ページ)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングのその他の参考資料](#) (5 ページ)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの機能の履歴](#) (5 ページ)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースで、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、<https://tools.cisco.com/bugsearch/> の Bug Search Tool およびご使用のソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、「[スマート ソフトウェア ライセンシングの機能の履歴](#)」の表を参照してください。

スマート ソフトウェア ライセンシングについて

従来のライセンスの概要

シスコの従来のライセンスは、製品アクティベーション キー (PAK) と固有デバイス識別子 (UDI) に基づく既存のライセンス モデルです。ほとんどの デバイスでは、UDI を読み込むための .tar ファイルを取得してスイッチにインストールする前に、のニーズが評価されます。お客様が PAK を発注すると、PAK がユーザに電子メールで送信されます。UDI と PAK は、

Cisco NX-OS ソフトウェアのインストールを完了するために、スイッチのブートディレクトリに登録されているライセンス ファイルを受信するために組み合わせて使用されます。

License Registration Portal (LRP) は、従来のライセンスのスマートライセンスへの移行を支援するために使用できます。LRP にアクセスし、トレーニングを受け、ライセンスを管理するには、<http://tools.cisco.com/SWIFT/LicensingUI/Home> に移動します。

従来のライセンスをスマートライセンスに変換するには、次の方法があります。

- [スマートライセンスへの従来のライセンスの変換](#)
- [スマートライセンスへの従来のライセンスの変換：CLI バージョン](#)

ライセンスモデルの比較

Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチでは、2つのタイプのライセンスモデル、つまり従来のライセンスとスマートソフトウェアライセンスが使用されます。

表 1: 従来のライセンスとスマートソフトウェアライセンスの比較

説明	従来のライセンス	スマートソフトウェアライセンス
ライセンスインスタンスノードは製品インスタンスに固定	○	いいえ
設定時に製品登録	いいえ	はい
レポート、監視、所有、使用のためのツールを提供	いいえ	はい
Smart Call Home が必要	いいえ	はい

スマートソフトウェアライセンスの注意事項および制約事項

- 従来のライセンスとスマートソフトウェアライセンスの両方を Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチで同時に使用することはできません。
- スマートソフトウェアライセンスは、Cisco MDS NX-OS リリース 9.2(1) 以前の Cisco NPV デバイスではサポートされていません。

- 従来のライセンスをスマートソフトウェアライセンスに移行すると、ポートライセンスは非適合状態になります。

スマートアカウントとバーチャルアカウント

- スマートアカウントは、スマートアカウントが有効なすべての製品およびライセンスを1箇所で管理します。これにより、シスコソフトウェアの迅速な調達、導入、およびメンテナンスが可能になります。

組織に代わってスマートアカウントを要求する場合、スマートアカウントの作成時に要求側の組織の代表するための権限が必要です。要求を送信すると、要求が承認プロセスに進んでから、スマートアカウントへのアクセスが許可されます。

スマートアカウントの理解、セットアップ、管理については、<http://software.cisco.com> を参照してください。

- バーチャルアカウントは、スマートアカウント内のサブアカウントです。組織の配置、ビジネス機能、地域、定義された階層に基づいて、仮想アカウントの構造を定義できます。バーチャルアカウントの作成および保守は、スマートアカウント管理者のみが実行できます。

Smart Software Manager の概要

Smart Software Manager を使用すると、ソフトウェアライセンスとスマートアカウントを単一のポータルから管理できます。インターフェイスを使用して、製品のアクティベート、ライセンスの管理、更新、ソフトウェアのアップグレードを行うことができます。登録プロセスを完了するには、アクティブなスマートアカウントが必要です。Smart Software Manager にアクセスするには、<http://www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/index.html> に移動します。

Smart Software Manager で次の情報を追加する必要があります。

- 信頼できる固有デバイス識別子：これはデバイスID（安全な固有デバイス識別子（SUDI））です。
- 組織識別子：これは、製品をスマートアカウントまたはバーチャルアカウントに関連付けるための数値形式です。
- 使用されるライセンス：Smart Software Manager がライセンスタイプと使用のレベルを理解できるようにします。

Smart Call Home の概要



- (注) Smart Call Home を使用する前に、DNS クライアントと Virtual Routing and Forwarding (VRF) を設定する必要があります。詳細については、「[DNS クライアントの設定](#)」および「[HTTP を使用したメッセージ送信のための VRF 設定](#)」を参照してください。

Smart Call Home 機能は、Smart Software Manager との通信に使用されます。Smart Call Home は、スマートソフトウェアライセンスを設定する際に自動的に有効になります。Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチでは、スマートソフトウェアライセンスはデフォルトで無効にされています。

Smart Call Home (SCH) サーバは、デフォルトで Cisco Smart Software Manager (CSSM) サテライトで実行されます。このサービスには、次の URL を使用してアクセスできます。

`https://<CSSM satllite IP>/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler`

デバイス登録が CSSM サテライトと連動するように、この URL を Smart Call Home 設定の一部として提供します。例となる設定については、『[Smart Software ライセンスの設定の例](#)』を参照してください。

Smart Call Home により CiscoTAC-1 プロファイルが作成されます。関連する Smart Call Home メッセージは、Smart Call Home が有効になっている場合のみ、Smart Software Manager に送信されます。スマートソフトウェアライセンスがデフォルトで有効になっているスイッチの場合、Smart Call Home も関連付けられたメッセージとともにデフォルトで有効になっています。

スマートソフトウェアライセンスを無効にするには、「[スマートソフトウェアライセンスのディセーブル化](#)」を参照してください。

Smart Software Manager サテライト

Smart Software Manager サテライトは、スマートソフトウェアライセンスのコンポーネントで、Smart Software Manager と連携して動作してソフトウェアライセンスを管理します。お客様の製品ライセンスをインテリジェントに管理し、お客様が購入および使用するシスコのライセンスについてリアルタイムの可視性とレポートを提供します。

インターネットに直接接続してインストールベースを管理したくないお客様の場合は、Smart Software Manager サテライトをお客様のオンプレミス環境にインストールして、Smart Software Manager 機能のサブセットを使用できるようにします。サテライトアプリケーションをダウンロードし、それを導入して、Smart Software Manager に登録できます。

サテライトアプリケーションをオンプレミス環境で使用して次の機能を実行できます。

- ライセンスの有効化または登録
- 会社のライセンスに対する可視性の取得

- 会社のエンティティ間でのライセンス移動

Smart Software Manager サテライトの詳細については、<http://www.cisco.com/go/smartsatellite> を参照してください。

スマートソフトウェアライセンスのその他の参考資料

表 2: シスコのテクニカルサポート

説明	リンク
<p>シスコ サポートの Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的な問題のトラブルシューティングや解決に役立てていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Product Alert Tool (Field Notices からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>
License Registration Port (LRP) の資料	https://www.cisco.com/web/fw/tools/swift/xui/html/help.html

スマートソフトウェアライセンスの機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
Satellite による Smart Software ライセンシング	8.4(2)	この機能が導入されました。

機能名	リリース	機能情報
Smart License への従来のライセンスの変換 : CLI バージョン	8.2(1)	この機能が導入されました。
サブスクリプションベースのライセンス	8.2(1)	この機能が導入されました。
スマートソフトウェアライセンス	8.0(1)	<p>スマートソフトウェアライセンスは、シスコソフトウェアを簡素化し、ネットワーク全体でシスコソフトウェアがどのように使われているかについて理解できるように支援するための標準化されたライセンスプラットフォームです。スマートソフトウェアライセンスは、Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチの次世代ライセンスプラットフォームです。</p> <p>次のコマンドがこの機能で導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • feature license smart • license smart deregister • license smart enable • license smart register • license smart renew • show license all • show license status • show license summary • show license tech support • show license udi • show license usage